

平成十八年度 総会報告



司会の小坂恵美運営委員



事業報告する高橋課長



決算報告する福田監事

六月四日(日)、アルカディア市ヶ谷(東京都千代田区九段)で八〇名を超える参加を得て平成十八年度「ふるさと上越ネットワーク」総会が開催されました。

小坂恵美さん司会のもと、和久井会長、木浦上越市長(中川助役の代読)の挨拶を頂きました。次ページに全文を紹介しております。

規定により会長が議長を勤め、平成十七年度の事業報告と決算報告、平成十八年度の事業計画と予算、役員の改正の五議案が審議され、いずれも承認されました。

質疑に統いて、野澤企画・地域振興部長より合併後の上越市の現状説明を頂きました。



総会全景

会長挨拶

Jネット会長

和久井博

(幸町出身)

みなさんこんにちは。本日は「多忙の中を、平成十八年度ふるさと上越ネットワーク総会にお集まりいただきありがとうございます。開会に際し、一言ご挨拶をさせていただきます。

ふるさと上越ネットワークは、平成九年に設立しまして、ちょうど今年で十年目になります。この十年間会員の皆様のご協力の下に、色々な事業や企画をやってまいりました。「ふるさと交流会」でお花見に行ったり、あるいは「文化講演会」で、先日は、金井清一プロのお話を聞いたり、「越後ふるさと大使」のほうも、かなりの方に名刺を持つていただいて、あちこちでPRしていただいている。

去年から新たに「ふるさと市場」ということで、地元の良質な物産を出来るだけ世の中に広めようと新たな事業も始めております。

それ以外にも、上越市に対してJネットからいろいろな協力をしております。例えば、都会で培つたノウハウを上越の市政に生かそうという

ことで、今年度からは行革担当では松川副会長が、直江津港の振興では、長年日通におられた口ジスティックスのベテランの井手理事が、新たにコーディネーターとして入っています。それから上越市食糧・農業・農村基本計画策定委員会というのがあるんですが、従前は松川副会長と理事の澤さんが参画されていました。昨年から

WTOが米の関税を下げると言つてきておりましたから、上越の農業も非常に大変大きな課題を抱えているわけです。我々都会の生活者としての意見をいろいろ言わせていただいておりますが、今年は農業の具体的なアクションプランの中で私が今言われているのは、上越米を中心とした上越の食糧のブランドを作れと、ブランドを作るプロジェクトに参画してくれといわれています。これは私一人で考へてもどうしようないので、是非J

る皆様に日本の最重要貿易国はどこですかと聞いたら、多分今の高校生でもそう答えると思うんですね。それが驚くことに去年の十月、日本の最大の貿易相手は中国になりましたよね。アメリカも中国が最大です。ですから津軽海峡から日本海に向つてアメリカの貨物船が列をなしてるという話しを聞きます。そこで、直江津港にとつて千載一遇のチャンスが来るのではないかと思うわけです。そういう背景とロジのベテランである井手さんがいろいろアドバイスしてくれるということです。直江津港は、すごく期待できるのではないかと思います。

それから直江津港についてですが、ここにい



ネットの皆様の知恵とかアイデアをまとめて何とか上越のブランドを育成したいなと思つております。

ブランドにつきましては、この前、上越市長と新潟県知事がバネルディスカッションで聞いた面白い話がありまして、中越地震の時、山古志村というのは、非常に孤立しまして日本全国の新聞やマスコミに出て全国ブランドになりました。ただあれより被害があつたんじやないかと思われる小千谷の東山地域は、多分全国で誰も知らないんじゃないかと思います。

最後になりますが、ここにお集まりの皆さんますますのご発展とご健勝を祈念してご挨拶に代えさせていただきます。どうもありがとうございました。

ると思いますので、是非今日はゆつくり皆さんに楽しんでいただければと思っております。

平成18年度ふるさと上越ネットワーク



「平成十八年豪雪」では、上越市はじめ皆さん大変、苦労なされたわけですけれど、秋山郷に繋がる津南町は全国紙にたびたび報道されました。だから津南はブランドになつたわけですね。ですけど津南より多分雪が多かつた関山とか、関山の先の赤川なんてのはどこにも出てないわけなんですよね。だからブランドになるには、日本一にならなければいけない。あるいは世界にならないとブランドにならない。これは大変なことなんだなという風に思っています。是非皆さんと一緒に日本一の上越の何とかっていうのを見つけ出すのか、作り出すのか、何かそういうことをやっていかなくてはいけないのかなと思うております。

本日は、一年に一回の総会・懇親会であります。上越の方から沢山食べ物やお酒が届いてい



来賓祝辞 上越市助役 中川周一

がら、改めて頑張つてまいる所存でございます。

上越市助役の中川でございます。本来ならばJネット顧問でございます木浦上越市長が伺う

予定でございましたが、本日はあいにく朝からまいりました。代読をさせていただきたいと思

(以下、市長メッセージ。中川助役代読。)

いくつかの行事がございまして、どうしても調整がつかず、代理で出席させていただきます。よろしくお願い申し上げます。Jネットの皆様には、日頃からふるさと上越を温かく見守っていただき、また、ふるさと上越の発展・充実に対し、格別のご指導とご協力を賜っておりますことに、衷心より厚く御礼申し上げたいと思います。おかげさまで合併いたしまして一年五か月が経過いたしました。自立に向けたまちづくりに職員一丸となつて取り組んでいます。

本日は、平成十八年度ふるさと上越ネットワークの総会のご盛会、誠におめでとうございました。また、Jネットが平成九年七月に設立されて以来、今年で十年目の節目を迎えられますことに重ねてお祝いを申し上げます。

上越市では今、北陸新幹線や上越・魚沼地域振興快速道路、直江津港などの基幹的なインフラ整備そして上越火力発電所建設等の大型プロジェクトを確実に推進するための取組を進めしており、また、明年四月に予定をしている特例市への移行を実現し、名実とともに北信越地方の中心都市としての役割を担うための努力を続け、皆様のご期待に応えるよう自立したまちづくりを更に促進してまいります。

皆様には、会の目的のとおり、さまざまな事業を通してふるさとの交流を深めていただいておりますほか、各種委員会の委員として上越市のまちづくりにご支援いただいておりますが、

本日は、市長から合併後の今の現況等について皆さんにお話をさせていただく絶好の機会でございましたが、出席することが叶いませんので、市長から皆さん方へメッセージを託されて

本日は、平成十九年度ふるさと上越ネットワークの総会のご盛会、誠におめでとうございました。また、Jネットが平成九年七月に設立されて以来、今年で十年目の節目を迎えられますことに重ねてお祝いを申し上げます。

上越市では今、北陸新幹線や上越・魚沼地域振興快速道路、直江津港などの基幹的なインフラ整備そして上越火力発電所建設等の大型プロジェクトを確実に推進するための取組を進めており、また、明年四月に予定をしている特例市への移行を実現し、名実とともに北信越地方の中心都市としての役割を担うための努力を続け、皆様のご期待に応えるよう自立したまちづくりを更に促進してまいります。

また、来年は京の都から配流された親鸞聖人が直江



津五智の居多ヶ浜に上陸し、この地で布教活動を始めて八百年という記念すべき年にあたります。

こうした機会をとらえて、ふるさと上越を広くアピールするためのシティセールスを力強く推進し、上越市の価値や知名度を高め、交流人口の拡大を図りながら上越ブランドを構築していく所存であります。

皆様にはこれからも変わることなく、ふるさと上越に格別のお力添え賜りますようお願いを申し上げます。私も皆様が誇れるふるさと上越のまちづくりに更に精進してまいります。

最後にふるさと上越の応援団である、ふるさと上越ネットワークの会員の皆様のますますのご健勝ご活躍を心からご祈念いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。

平成十八年六月四日 上越市長 木浦正幸

代読でございました。本日の総会まことにおめでとうございます。ありがとうございました。



上越市の現況報告

上越市企画・地域振興部長

野澤 朗

市街地の活性化となりますと、商店をどうするかといった話であります。そのような状況ではなくなりました。このことにつきましては、やはりより多くの人から住んでいただくための仕掛けが、非常に重要なことがあります。

企画・地域振興部長の野澤でございます。よろしくお願ひいたします。この機会に、高田と直江津を中心に、上越市の現在の取組につきまして簡単にお話しさせていただきます。

高田地区におきましては、町屋を中心としたまちづくりが少しずつ定着してまいりました。今井染物屋、金津桶屋、小妻屋という町屋がございますが、これらがお客様を招き入れることに繋がっております。小妻屋につきましては、そのままの姿を出来るだけ活かした形で新しい公共施設にしていこうと、高田に今まで無かった街中の集会場として設計しております。

来年には着工いたしますが、町屋、いわゆる普通のお宅を活かした公共施設として話題になるのではと思つております。高田にお越しの際に、お立ち寄りいただける場所が一つ増えるのではないかと思つております。

このようなことも含め、十三区の個性豊かな特性を活かす仕掛けの一つとして、フィルム・コミッションという映画等を誘致する組織も出来ました。このほど、その第一号の映画が撮影され、松川副会長も医師の役で出演されていました。上映の際は、是非ご覧いただきたいと思います。フィルム・コミッションへは、現在もかなりの数の要望をいただいておりますので、そのうちにいろいろな映画に、我が上越の場面が使われるのではないかと期待しております。皆さんも是非楽しみにしていただきたいと思っております。

直江津地区につきましては、二十五年間で三十九パーセントという人口減少率となつております。その割合は大島区、牧区とほぼ同じであります。高齢化率も二十八パーセントと、はつきり申し上げて過疎地帯でございます。これまで中心

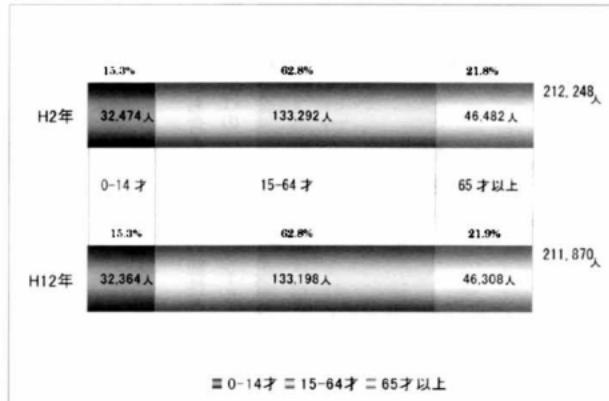
新幹線が開通いたしますと、直江津の駅の性格も変わつてまいります。我々いたしましても、第三セクターの鉄道を維持していかなければならぬこともあります。このほど直江津の駅前開発に本格的に乗り出す計画づくりを終えたところであります。直江津図書館と社会教育館が、水族館の近く、直江津中学校の近くにあつたのを記憶の方もおられると思いますが、これを出来れば駅前に公共施設として移転、新築したいと調整に入つております。私どもいたしましては、八年後には、新幹線開通時までに直江津の街の方向性を明確にし、新幹線開通後に対応できるような街にしていきた



それから最後でございますが、この度上越市民歌を全面的に見直すことになり、現在歌詞を募集しております。現在の市民歌は、高田は、直江津はといった地名にまつわる歌詞となつておりまして、同じように十三区の地名を入れると非常に長くなるということから、今回の募集ルールでは、今の歌のように特定の地名を歌い込みますに、もう少し全体的な上越ふるさとを想う歌にしようということになりました。補作詞者として杉みき子先生をお願いしてござりますが、作詞者としてお名前が永遠に残ることでもありますので、是非皆様からも応募いただければと、本日P.Rさせていただきました。

まだ確定値ではございませんが、昨年の国勢調査で上越市の人口は二〇八、〇〇〇人となりました。平成十二年からの減少数はそれでも三一八〇人に止まっています。皆様方のかけがえのないふるさと・上越が今後も引き続き発展しますよう、市長を先頭に職員一同努力してまいりますので、今後も皆様からのご支援よろしくお願ひいたします。

簡単ではございますが、現在の上越市の状況をお話しさせていただきました。



上越市の年齢別人口の推移

	人口(人)	世帯数(世帯)	平均世帯人数
昭和55年	216,320	57,390	3.77
昭和60年	216,348	58,703	3.69
平成2年	212,248	59,662	3.56
平成7年	212,060	63,402	3.34
平成12年	211,870	67,654	3.13
平成17年	208,083	69,108	3.01 (速報値)

人口と世帯数の推移

平成18年度 ふるさと上越ネットワーク予算

■収入

単位：円

科目	17年度決算額	18年度予算額	差引増減	内訳
会費	2,342,500	2,764,200	421,700	・個人会員 @3,000×637 @2,900×208 ・賛助会員 @50,000×5
負担金	1,139,000	1,085,000	△ 54,000	・総会参加者 @5,000×70 ・文化講演会参加者 @5,000×70 ・ふるさと交流会参加者 @10,000×18×2 ・ふるさと越後大使 25,000
交付金	4,000,000	4,000,000	0	・市交付金
通信販売精算金	143	0	△ 143	
繰越金	1,404,226	1,121,023	△ 283,203	
雑入	147,134	50,134	△ 97,000	・預金利子 ・ふるさとカレンダー 134 50,000
合計	9,033,003	9,020,357	△ 12,646	

複数年納入者128人(延べ236人) 納入金684,400円(H18.4.1現在) 収入に見込まず別会計として管理

■支出

単位：円

科 目	17年度決算額	18年度予算額	差引増減	内 訳
	3,985,407	4,420,000	434,593	
広報事業	164,878	189,000	24,122	・会員募集チラシ 58,000 ・通信運搬費 12,000 ・会員証 63,000 ・振込用紙印刷等 56,000
広報事業	3,820,529	4,231,000	410,471	・市広報購入費 653,000 ・会報作成(年2回) 770,000 ・ふるさとカレンダー印刷 787,000 ・配送料 1,593,000 ・レターヘッド、封筒印刷 298,000 ・編集委員賃金、消耗品費ほか 130,000
交流事業	1,010,953	1,150,000	139,047	・ふるさと交流会 584,000 ・地方サロン開催補助等 466,000 ・勉強会 100,000
ふるさと支援事業	936,868	1,168,000	231,132	・講演会事業 775,000 ・ふるさと大使事業 57,000 ・通信販売精算金ほか 336,000
総会開催事業	868,790	944,000	75,210	・理事会 35,000 ・総会 191,000 ・懇親会 718,000
事務費	1,109,962	1,338,357	228,395	・運営委員会事務局費 960,000 ・運営委員交通費助成 144,000 ・手数料、消耗品費ほか 234,357
繰越額	1,121,023	0	△ 1,121,023	
合計	9,033,003	9,020,357	△ 12,646	

議事と事業内容

・「広報しょくすう」(一日号、十五日号)
・上越市や、その情報提供する「た
より」の発行

・会員の近況を紹介する「お元気ですか

の発行

・イベント情報チラシ、特別賛助会員から
のお知らせなどを送付

(1)「トネイド会報」の発行・年一回発行

(2)「ふるさと万レンダー」(1007年版)

の発行・十一月

(3)「ホーリーの充実とソネットワーク

の発行・十一月

(4)ホーリーの充実とソネットワーク

の発行・十一月

(5)「ふるさと万レンダー」(1007年版)

の発行・十一月

(6)「ホーリーの充実とソネットワーク

の発行・十一月

(7)「ホーリーの充実とソネットワーク

の発行・十一月

(8)「ホーリーの充実とソネットワーク

の発行・十一月

(9)「ホーリーの充実とソネットワーク

の発行・十一月

(10)「ホーリーの充実とソネットワーク

の発行・十一月

(11)「ホーリーの充実とソネットワーク

の発行・十一月

(12)「ホーリーの充実とソネットワーク

の発行・十一月

(13)「ホーリーの充実とソネットワーク

の発行・十一月

(14)「ホーリーの充実とソネットワーク

の発行・十一月

(15)「ホーリーの充実とソネットワーク

の発行・十一月

(16)「ホーリーの充実とソネットワーク

の発行・十一月

(17)「ホーリーの充実とソネットワーク

の発行・十一月

・社会システム研究所内
・参加費 千円(参加者負担)
②名古屋サロウ

・開催日 九月に開催予定

・会場 名古屋マリオットアソシアホテル

・参加費 一人あたり千円をソネットが負担

・予定

・成

③大阪サロウ

・開催日 十二月に開催予定

・会場 大阪弥生会館(予定)

・参加費 一人あたり千円をソネットが負担

・予定

・開催日 十二月に開催予定

・会場 大阪弥生会館(予定)

運営委員 新任

中村真和、岡村晋、小坂恵美

(上越青年会議所理事長)

上野 猛→吉田雅治

(二 広報事業(上越市の紹介)
(1)ふるさとからの便りを会員宛(毎月一
回送付)

(1)百円割引)

定

会員募集

東京地区

その他

年三~四回、上越市にゆかりのある施
設を見学し、市出身者等の功績等を

四 総会等開催事業

(一) 総会

①開催日 平成十八年六月四日(日)

②会場 アルカディア市ヶ谷

③内容 平成十七年度事業・決算報告、平成十八年度事業計画・予算等の協議、アートプラン、懇親会

②各種委員会の委員として協力

直江津漁業推進貿易

井手高吉 副会長

行革推進専務員

松川太智雄 副会長

農村政策審議会

松川太智雄 副会長

上越市食料・農業基本条例

和久井博 会長

小野塙いい子 副会長

自民会議

松川太智雄 副会長

上越市食料・農業基本条例

和久井博 会長

小野塙いい子 副会長

自民会議

上越市食料・農業基本条例

和久井博 会長

小野塙いい子 副会長

平成十八年度総会議案審議

他

◇第二回 平成十九年一月に開催予定
平成十八年度事業中間報告、
十九年度事業計画案ほか

- (一) 文化講演会(第二回理事会開催時)
(四) ふるさと越後大使事業(ふるさとひらく用
の名刺作成と配布)

- (三) 運営委員会の開催・毎月
(一) 開催日 原則毎月第一水曜日

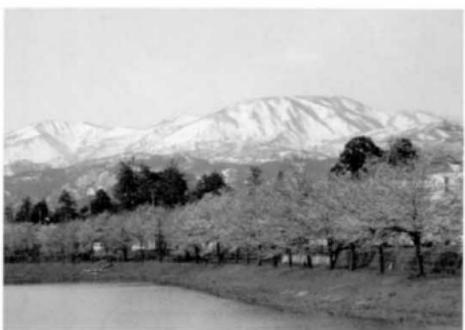
- (二) 会場 運営委員会事務局株式会社
社会システム研究所内)

- (三) 出席者 運営委員(十四人)

- (四) 内容 個別事業計画の内容検討や事
業執行への協力ほか

- 五 ふるさとのまちづくり支援
(一) ふるさとの市場事業(お米を中心とした
通信販売)
(一) 上越市への協力等

- (一) 事務員として協力



アトラクション・懇親会

な所からどんなに真剣に見てもタネは見つかりません。たゆまぬ訓練による至芸というべきでしょ。

締めは恒例の我らが誇りの歌「春日山音頭」と「エイ、エイ、オー」を松川副会長の音頭で高らかに唱え、来年の再会と健康を祈念してお別れです。

総会後のアトラクションは、上越市大

豆出身のマジシャンカズ（石田一巳さん）の多種にわたる手品と高田地区出身の田嶋里香さんの歌を楽しみました。

カズさんは上越地方を中心幼稚園、小中学校を始め、学園祭芸術鑑賞会、教育事業老人ホームなどで活躍しておられる若手のマジシャンです。将来は世界を股にかけるマジシャンへの成長を期待されています。

田嶋さんはポップスを得意とし、十二年前この雨通り過ぎるまで「東芝EMIからデビュー」。CM出演、ドラマ、映画などへの活躍が一層期待される上越のホーブです。

総会では、大阪堺市より参加の副会長尾崎宗秀さん、榎原家当主榎原政信さんからご挨拶を頂き、理事の下山敏

郎さんの乾杯発声で宴会のスタートです。

上越からの馳走とお酒で賑わいが増してきました。利き酒コンテストと抽選会などで更に盛り上がりした。

利き酒の景品 安塚のお米「ぎんしゃり」二キロ入れ（十人）

・抽選会の景品（各二人）

・「コシヒカリ味噌」一キロ袋入（山本味噌醸造場）

・くろようかん第一義一本

（大杉屋惣兵衛）

・栗飴二個入

（十四代高橋孫左衛門商店）

・岩の原オリジナルケーキ一本

（閑のや製菓）

・継続だんご八本入

（三野屋菓子店）

再びカズさんのテーブル手品を特別に

披露していただきました。三六〇度好き





カズさんの手品



みなさん真剣に見てますが…



田嶋さんの独唱



尾崎宗秀副会長の挨拶



司会の勝島副会長



柳原政信さんの挨拶



山下理事による乾杯でスタート



当選しました



商品授与



東京新潟清里会の方々





カズさんのテーブル手品



当たるかな



「当たった」



「たね教えて」「ダメ」



当選しました



「エイ・エイ・オー」



楽しかったね 再会を期して